

『新座稲門会便り』 (No. 8)

新座稲門会会報 (2013年5月号)

編集発行：新座稲門会幹事会

◆ 会長ご挨拶 ◆

まず最初に、昨年の総会で会長に就任以来1年近くも経ちますのに、会報でのご挨拶が遅れましたことを深くお詫びいたします。健康上の理由から退任された飯田さんの後任として会長に就任いたしました伊藤雅夫(昭和41年理工学部土木工学科卒、昭和43年大学院理工学研究科修士課程修了)でございます。

新座稲門会は2010年10月に、約150名の皆様方のご支援のもとに設立して、今年で3年目を迎えます。現在幹事は24名で、それぞれ担当を決めて会の運営に当たっております。

現在のところ、年次総会・懇親会と新年会という二つの全体行事を軸として、ランニング、ゴルフ、講演会、カラオケ会、箱根駅伝応援など個別の行事・イベント等を実施しておりますが、まだまだ不十分と思っております。これ以外にも、皆様方また家族の方も参加できるようなサークル活動やイベント等も、皆様方のご意見等も取り入れて今後企画していきたいと思っておりますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

なお、近隣の和光、朝霞、志木、富士見の各稲門会とは5市連絡会を作り、これら稲門会主催の講演会やイベント等の案内も随時行っております。また、合同のイベントなども今後企画していく予定です。

埼玉県には現在29の稲門会があり、各稲門会役員・幹事が一堂に会して、年に2回の埼玉県支部役員・幹事会と年一回の埼玉県支部大会が開催されております。これらの報告も随時皆様方にお伝えしてまいります。

ところで、早稲田大学は、2032年に創立150周年を迎えます。このことを視野に入れて大学では「Waseda Vision 150」を策定しております。詳しい内容は大学のホームページに記されてますが、Visionとしては、①世界に貢献する高い志を持った早稲田の学生②世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する早稲田の研究③グローバルリーダーとして歓びを持って汗を流す早稲田の卒業生。の3つを掲げております。このVision実現のために大学の方から、「校友の理解と協働」を求められておりますので皆様方のご協力もお願いする次第です。

新座稲門会会長 伊藤 雅夫

◆ 新座稲門会第4回講演会開催報告 ◆

4月7日に「にいざほっとぶらざ」で、NPO法人「地盤災害から命を守る会」代表の中村和之氏を講師に迎え、「地震・豪雨の防災対策と市民の防災活動」という講演名で講演会を実施した。参加者は新座9名、志木1名、朝霞4名、それと一般の方3名の計17名であった。

講師の中村氏は東京都多摩市でNPO法人「地盤災害から命を守る会」を3年前に立ち上げ、「自分の命は自分で守ること(自助)」を掲げ、「自分が助かれば家族を、そして周りを助けることができる(共助)」をうたい、一般市民への防災に関する教育・啓蒙活動を行っている。本講演では、日本列島はなぜ地震が発生しやすいかの説明や、地震や豪雨による地盤災害とそれに対する対策の説明があった。中村氏のNPOの活動の精神である「災害時に助かるために一番頼りになるのは自分であるので、日ごろの健康づくりが必要である。自分が健康で助かれば他の人を助けることができる」という言葉は、改めて納得するものであった。

講演後には何人もの方から質問があり盛況のうちに終わった。(文責：伊藤)



◆ 2013年新年会を開催 ◆

1/19(土)、新座稲門会の新年会がひばりヶ丘「旬」で開催され、30人を超える参加者で賑わった。各会員の近況報告に会場が湧いた後、新座名物の青春ソングの合唱で大いに盛り上がった。今回、小見野副会長のギターに鈴木(康)幹事のホルンが加わり演奏の陣容が徐々に厚くなりつつある。今回は伊藤会長のチェロの加入が期待できそう(?)。

福引では景品の1つとして、特製早稲田野球帽がに好評でほぼ全員に行き渡った模様(一部ご購入いただいた方もいらっしゃいますが、ご協力誠にありがとうございました)。最後は、伊藤(博)幹事のリードでエールが切られ、盛会のうちにお開きとなった。

二次会は、今年も軽音楽同好会手配によるカラオケ大会となり、10人強が参加、それぞれ自慢ののどを競い合った(皆さん芸達者です)。新座稲門会では1月の「新年会」と6~7月の「年次総会」が全員参加型の主要イベントという位置づけになっております。今後共、会員の皆様多数のご参加をお待ち申し上げております。 【2013/1/19 細川 記】

◆ 1/3箱根駅伝復路応援会 ◆

1月3日の箱根駅伝復路応援会に参加。新座稲門会からは、細川幹事長と伊藤(博・幸子)のみでしたが、北京稲門会の元気な皆さまが、12時に日本橋コレド前に集まりました。

昨年は応援団の近くに陣取り、ほとんど選手の姿を見られなかった反省から、今年はコレド前で1時間半粘りました。その甲斐あって、早稲田と帝京のデッドヒートを含め、すべてのランナーを見ることができました。

通りの反対側には青学と明治の幟が多数はためき心細い限りでしたが、時折早稲田OBと思われる年配の方から、「早稲田は今何位？」などと声を掛けられ、幟の威力を改めて実感しました。総合5位は悔しいですが、間近に見る選手たちから元気をもらいました。正月3日になかなか都心に出られない方も多いでしょうが、一度ご覧になると、また違った駅伝の楽しみ方が味わえます。 【2013/1/3 伊藤 博 記】



早稲田大学校友会埼玉県支部役員幹事会 (報告)

■日 時:4/27 (土) 16時~19時半 [懇親会含む]

■場 所:川口/銀座アスター

出席者:新座稲門会から伊藤会長、細川2名出席

埼玉県支部役員6人と県下の29稲門会会長・副会長・幹事長等、総勢63人が出席し、掲題の埼玉県支部役員幹事会が開催された。議題は①24年度活動報告・会計報告及び、②新支部長選任に関する件の2件で、その他連絡・報告事項といった構成。議題(議事)は2件とも滞りなく承認され、支部役員6人が交代した(選任された新支部長が新副支部長4人[地区毎]と新事務局長を指名)。

◎新支部役員

・支部長 利根忠博様(浦和)

・副支部長 東地区 大野光政様(越谷吉川松伏)

西地区 三上武壽様(所沢) 南地区 川名俊行様(上尾)

北地区 前嶋修身様(熊谷)・事務局長 口元周策様(所沢)

その他、主な連絡・報告事項は、①稲門祭10/20(日)について、②埼玉県支部大会11/16(土)に関するもので、①については特に稲門祭記念品の購入協力要請が主な趣旨であった。新座稲門会に与えられた目標金額(ノルマ?)は50,000円。この記念品販売による収益金は全額校友会奨学金となり、現役学生の強力な後押しとなるもの。昨年の新座稲門会の実績数字は68,000円。皆様、今年も何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします!②の埼玉県支部大会は今年の主幹が所沢稲門会であることから、所沢キャンパスで開催される予定。支部大会は支部最大のイベント(お祭り)で例年300人規模の人出で賑わう。今年は新座稲門会の属する西地区の開催でもあり、多数で参加したい。以上[細川 記]

●3/2 春季代議員会の報告

3月2日(土)(16:00~)、大隈講堂に全国から500人を超える代議員が参集し校友会の春季代議員会が開催された。新座稲門会からは代議員の小見野副会長、秋浦副会長、細川の3名が出席。

主な議題は2012年度活動報告・決算、2013年度活動計画及び予算、中野国際コミュニティプラザ支援の件等で全て可決。中野(駅北口)の国際学生寮を軸とした教育施設「中野国際コミュニティプラザ」は来年度完成予定。渾身の思いが込められた事業で、完成後は『教育のグローバル化』がより一層推進されることとなる。

最後に奨学生代表として、ロンドン五輪競泳銅メダリストの星選手から大学院に進学、3年後の五輪に向けた決意が述べられた。

また、18:00からは大隈ガーデンハウスでの懇親会があり、各地の学生稲門会の学生が招待され、現役学生との交流がはかられた。

[2013/3/2 細川 記]



← 昨年末の幹事忘年会風景

★ この会報についてのご意見、ご希望は広報担当 小見野成一まで (電話048-477-3320)



第2回新座稲門会ゴルフコンペ報告

4月20日(土)北越谷パブリックコースに於いて、第2回新座稲門会ゴルフコンペを開催しました。今回は、7名、2組でのコンペとなりました。

当日は小雨も混じり若干寒い中ではありましたが、和気藹々としたコンペとなりました。優勝は北海道へ単身赴任でありながら参加頂いた篠原さん、ベスグロは本多さんでした。

第3回となります次回は秋口に計画しております。次回はできれば4組のコンペを実施したいと思っております。皆様の参加をお待ちしております。

(参加者(敬称略):村野 泰由・本多 昭次・篠原 昭司・沢田 正道・富岡 宏修・黒住 明央・柴田 之嗣 計7名) ◇文責・柴田



ランニング同好会活動報告

スポーツに気持ちの良い季節になりました。

平成25年に入り、新座稲門会ランニング同好会(通称NICOランナース)では新年度最初の活動として、2月3日「新座ロードレース」に参加しました。

まだ寒い時期でしたが天気にも恵まれ、総合運動場には市民ランナー約10000人が集いました。平林寺周辺を2周10.55kmのコースはほぼ平坦で、街頭では住民の方々も応援して下さい、とても走りやすくほのぼのとした大会で、壮年女子の部では参加した2名とも入賞を果たすという大健闘でした。総合運動場の近くには日帰り温泉施設もあります。来年は是非いかがですか?

また5月26日、この会報がお手元に届く頃でしょうか、NICOランナースとしては3回目となる「谷川真理駅伝」に参加します。今年和光、富士見両稲門会もメンバーに加わり、2チームでの参加を果たしました。4月14日には顔合わせ兼合同練習として「皇居ラン(1周約5キロの皇居周りを走ります)」を行いました。人も車も少ない平日の都心を新緑の皇居を眺めながら走るのとても気持ち良く、大会本番へのテンションも上がり、終了後はメンバーお勤めのお店でランチをしながら普段の練習コースなどの情報交換などに話が盛り上がりました。(文責:秋浦)